

生徒の皆さんへ

滋賀県立彦根東高等学校
校長 古川 正治

新型インフルエンザ感染予防に関する 夏休み中の注意事項について

本校でも生徒2名が新型インフルエンザに感染しました。明日から、夏休みとなりますが、感染の拡大を防止するため、また学習に部活動に充実した毎日が過ごせるようにするため、生徒一人ひとりが日頃の健康の自己管理を心がけてもらいたいと考えています。

以下に特に注意してほしいことをまとめたので、各自がしっかりと心掛けて下さい。

記

1 毎日の健康管理を励行

- (1) 「うがい、石けんを使った手洗い」が最も大切です。励行する習慣をつけること。
- (2) 咳エチケットの徹底をこころがける。
咳、くしゃみの際にはティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむける。
- (3) しっかりと健康管理に取り組む。
だるいなど体調が良くないときは、家で検温し、発熱がある場合は学校への登校、部活動や学校行事への参加を自粛し、医療機関で受診し、医師の指示に従うこと。
- (4) 十分な睡眠を確保し、栄養を摂取して規則正しい生活をおくる。
- (5) 不要な外出は控える。
- (6) 38℃以上の発熱と、風邪症状（鼻水、鼻づまり、喉の痛み、咳のうち一つでも）があり、病院に行くときには以下のことに注意すること。
 - ①あらかじめ病院に電話をすること。
「彦根東高校では、7月15日に新型インフルエンザに感染した生徒が出ました。私も現在熱があります。」
どこの病院にも検査キットがあるとは限りません。電話で検査が受けられるかどうかわかります。また、入り口などが指示される場合もあります。
 - ②マスクをして病院に行く。
 - ③診察が終了したら、すみやかに結果を学校へ報告する。

2 部活動について

- (1) 体調の悪い生徒は無理をしないで練習を休んで、自宅で静養する。
- (2) 自校他校に関係なく新たな感染者の発生による各種大会や試合の出場の可否については、顧問から指示があるので、それに従って冷静に対応する。
- (3) 各部の部長は活動日には健康観察を実施して、部員の健康状態を把握してから活動する。

3 補習や学校行事について

- (1) 体調の悪い生徒は無理をしないで、事前に学級担任または教科担当の先生に欠席連絡を入れて、自宅で静養する。
- (2) 途中で体調が悪くなった場合は、無理をせず担当の先生に申し出ること。

4 その他

休日や夜など自宅で発熱があった場合にも、できるだけ早く学校（学級担任または部活動顧問を含む）に連絡を入れて医療機関で受診し、医師の指示に従う。

平成21年7月17日

各先生方へ

連 絡

- 1 学級担任は、LHRで別紙「新型インフルエンザ感染予防に関する夏休み中の注意事項について」のプリントを生徒に配布し、内容を確認させる。
- 2 夏休み中の補習、学校行事、部活動等においては、生徒の健康状態に十分注意し、特に発熱などのインフルエンザの疑いある生徒がいるかどうかを把握する。
- 3 部活動については活動日には別紙に健康観察の結果を必ず記録する。
- 4 発熱がある場合は必ず、活動を休ませて、直ちに受診させ、医師の指示に従うよう指導する。学校（管理職と学級担任）に連絡する。また、受診結果についても必ず聞き取り、学校（管理職と学級担任）に報告する。
- 5 新型インフルエンザ感染者または新型インフルエンザ感染の疑いのある生徒については、絶対に活動させない。また、濃厚接触者については、学校医等によるメディカルチェックを受け、活動可能と判断された生徒についてのみ活動を認める。活動停止期間については学校医等の指示によるものとする。
- 6 大会への出場等への対応について
 - (1) 新型インフルエンザ感染者または新型インフルエンザ感染の疑いのある生徒については、発病の翌日から7日間は出場させない。
(例：7月31日に発病した場合は、8月7日まで出場できない。)
 - (2) 新型インフルエンザ感染者または新型インフルエンザ感染の疑いのある生徒がいる部の部員については、大会当日、必ず学校医等によるメディカルチェックを受け、出場可能と判断された生徒についてのみ出場させる。
 - (3) 濃厚接触者がいる場合については、上記(2)と同様の対応とする。
- 7 補習については、朝最初の時間に担当者が出席者に対して口答で、体調の具合について尋ね、体調の悪い生徒がいた場合は帰宅するように指示し、出席簿に記入する。
- 8 学校行事については実施前に個別に対応を指示する。